

鱒ヶ沢町 水 道 事業経営戦略

団 体 名 : 青森県 鱒ヶ沢町

事 業 名 : 鱒ヶ沢町水道事業

策 定 日 : 平成 29 年 3 月

改 定 日 : 令和 5 年 3 月

計 画 期 間 : 令和 4 年度 ~ 令和 14 年度

1. 事業概要

(1) 事業の現況

① 給水

| | | | |
|---------------------|-----------------|--------|--------------------|
| 供用開始年月日 | 平成 29 年 4 月 1 日 | 計画給水人口 | 17,130 人 |
| 法適(全部・財務) ・非適の区分 | 法適(全部) | 現在給水人口 | 7,587 人 |
| | | 有収水量密度 | 77.751 千 m^3 /ha |

② 施設

| | | | | |
|---------|--|-----------|---------|---------------|
| 水 源 | <input checked="" type="checkbox"/> 表流水, <input type="checkbox"/> ダム, <input type="checkbox"/> 伏流水, <input type="checkbox"/> 地下水, <input type="checkbox"/> 受水, <input checked="" type="checkbox"/> その他 (複数選択可) | | | |
| 施 設 数 | 浄水場設置数 | 5 | 管 路 延 長 | 139,879 千 m |
| | 配水池設置数 | 10 | | |
| 施 設 能 力 | 8,133 m^3 /日 | 施 設 利 用 率 | 37.25 % | |

③ 料金

| | |
|-------------------------------|---|
| 料 金 体 系 の 概 要 ・ 考 え 方 | 現行の水道料金については、用途別(家庭用、営業用、団体会用、湯屋営業用、団体会用、工業用、船舶給水用、臨時用)料金を採用しています。その料金設定は、用途別の基本料金と超過料金により構成されています。なお、全給水区域内での料金については従前から同一に設定されています。また、メーター使用料につきましては平成6年の水道料金改定時に廃止しています。また、現行料金につきましては、資産維持費相当額が含まれているとはいえない状況にあります。 |
| 料 金 改 定 年 月 日 (消費税のみの改定は含まない) | 平成 17 年 4 月 1 日 |

<料金表>

| 用途 | 基本水量 (1箇月) | 料金 | |
|-------|----------------------------|---------------|-------------------------------|
| | | 基本料金 (1箇月) | 超過料金 (基本を超える水量1 m^3 につき) |
| 家庭用 | 8 m^3 まで | 2,514 円 | |
| | 8 m^3 を超え 10 m^3 まで | 2,723 円 | 292 円 |
| 営業用 | 10 m^3 まで | 3,457 円 | 366 円 |
| 湯屋営業用 | 100 m^3 まで | 16,761 円 | 167 円 |
| 団体会用 | 10 m^3 まで | 3,195 円 | 345 円 |
| 工業用 | 10 m^3 まで | 3,457 円 | 366 円 |
| 船舶用 | 1 m^3 まで | 350 円 | 350 円 |
| 臨時用 | 10 m^3 まで | 3,980 円 | 398 円 |
| 共用 | 10 m^3 まで | 2,305 円 | 292 円 |

④ 組織

町内に散在する水道施設の維持・管理等を適切に運営するため、正職員5名と臨時・嘱託職員1名を配置しています。また、専門的資格、知識等の習得や施設特性に習熟した職員が必要になることから、在職年数が比較的長くなる傾向にあり、年齢の高い職員の割合が多くなっています。また、合理化に資するため、検針・水質検査や浄水場の管理等については、業務委託を実施しています。今後も、積極的に業務委託の拡充、広域化及び広域連携等を検討します。

(2) これまでの主な経営健全化の取組

当事業は昭和50年代には1水道事業、6簡易水道事業で運営してきましたが、平成5年度に6簡易水道事業を3簡易水道事業に統合し合理化に努めてきました。さらに、平成29年4月からは1上水、3簡易水道事業を1上水に統合し、広域化・合理化を図っています。また、平成19年度には水道事業、平成20年度には簡易水道事業の「公的資金補償金免除繰上償還に係る公営企業経営健全化計画」を策定し企業債の繰上償還を行い、経営の健全化に向けて経費の縮減に取り組みました。更に、公営企業アドバイザー事業等の国や県の諸制度を活用し、経営健全化に取り組んでいます。また、将来の広域化や相互支援体制の確立のため、公益法人日本水道協会青森県支部と連携し、青森県水道事業広域連携西北地区会議に積極的に参加、検討するものとします。

(3) 経営比較分析表等を活用した現状分析

※ 直近の経営比較分析表(「公営企業に係る「経営比較分析表」の策定及び公表について(公営企業三課室長通知)」による経営比較分析表)を添付すること。

流動比率が低く支払能力が脆弱であることから、更新事業の実施には主に企業債を活用している状況にあります。そのため、各種引当金の計上等の対策を講じる必要があります。また、効率化については、全面的なダウンサイジング化を検討し、効率性の向上対策を検討します。給水原価は高いことから抜本的な費用削減対策を実施する必要があります。料金回収率が費用削減対策を講じても100%を下回る場合には料金改定を検討します。施設利用率は昨年より減少し平均値を下回っており、また、有収率も昨年より増加はしたものの、依然平均を下回っていることから管路更新等の実施、施設改修等の対策を実施します。
【別紙資料1参照、経営比較分析表(令和3年度)】

2. 将来の事業環境

(1) 給水人口の予測

給水人口の予測については、計画目標年次を令和4年度から30年後の令和34年度とします。予測方法については、計画行政区域内人口はコーホート要因法(出生・死亡・移動等の変動要因に基づく)にて推計を行っています。計画給水区域内人口は、行政区域内人口と同じ減少率で推移するものとし、計画給水区域内人口に計画普及率を乗じて計画を行っています。令和34年度には令和4年度の55%まで減少すると予測しています。
【別途資料2参照、給水人口及び給水量一覧表】

(2) 水需要の予測

水需要は、その水需要主体の水使用行動の変化によって変わるものと考えられるため、その水需要主体の類似したものに分類して予測することが有効である。このため、ここでは水需要を以下の用途に分類して、それぞれ将来水需要量(使用水量)を予測しています。令和34年度には令和4年度の50%まで減少すると予測しています。
① 生活用水
② 業務営業用水(入浴施設・老人ホーム・病院・スーパーマーケット)
③ 工場用水(農作物加工場・自動車部品製造工場)
④ その他用水(現場仮設等臨時用水量)
【別途資料2参照、給水人口及び給水量一覧表】

(3) 料金収入の見通し

料金収入については、現行料金が令和1年10月1日のまま推移しております。
①収益的収支試算結果
営業収支においては損失を生じているが、補てん財源で一般会計からの繰入金をうけて全体では収益を計上しております。今後、人口減少等による料金収入の減少や光熱費等及び燃料代、修繕材料費等の高騰も踏まえ、社会情勢にも注視しながら料金見直しの検討を行います。
②資本的収支試算結果
計画期間における資本的収支については、工事請負費及び企業債償還のための不足額に対する補てん財源として、一般会計から企業債元金償還に充てるための繰入金、建設改良工事の施工のため内部留保資金を充当し今後も事業を継続していくことが可能であります。
【別途様式第2号参照】

(4) 組織の見通し

従前から活用している経営指標の職員1人当り給水人口及び職員1人当り給水収益を踏まえ、より生産性を高めるものとします。また、業務委託の見直しや業務委託の拡充による更なる人員削減を検討します。この人員削減に対応するため、より高度な専門技術を持ち、臨機応変に対応できる少数精鋭の専門組織を目指します。さらに、今後も広域化及び広域連携等を検討します。また、需要者である住民に対して、開かれた水道事業を目指して各計画の広報について、速やかにホームページや広報誌等により周知し、住民からの意見聴取を図ります。特に議会に対しては、協議会や説明会等による各計画の周知・説明で十分な理解と協力を求めるものとします。

3. 経営の基本方針

当水道事業は、昭和35年3月に創設され、その後は生活水準の向上に伴う水需要に対応するため、3回の変更認可を経て、現在に至っています。従前から効率的な事業運営、経営基盤の強化に努めていますが、施設更新事業費の増加や近年の少子高齢化に伴う人口減少、地方の景気低迷、官公庁施設の統廃合縮小撤退等による料金収入の減少と事業経営を取り巻く環境は一段と厳しい状況になっています。今後も困難な経営状況が続くものと予測されますが、地方公営企業は独立採算制を経営の基本原則を踏まえ長期的な展望に立った安定給水こそが最大の住民サービスであることから、事業水道事業の経営については、当該地域の自然的社会的諸条件に応じた施策の策定及び実施にあたり、企業一般に通ずる経営原則としての合理性と能率性を十分に発揮し、公共福祉の増進に寄与することを基本理念とし、時代の変化や住民ニーズの変化に的確に対応しつつ、常に自ら経営改善に積極的に取り組み、水道事業の安定的な運営を図ります。

4. 投資・財政計画(収支計画)

(1) 投資・財政計画(収支計画)：別紙のとおり

(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

| 目 標 | 財政計画に記した施設整備(令和5年度～令和14年度)を重点的にを行い、その後投資試算計画(長期目標60年後 令和5年度～令和65年度)を計画的に推進し、施設の更新率及び耐震化率の向上を目標とします。緊急を要する課題として、鯉ヶ沢浄水場の更新事業を最優先とし、その後、管路の耐震化及び更新を行い、管路経年化率の減少を目指します。 |
|-----|---|
|-----|---|

投資計画
・施設更新計画 R5～R65年度
・配水管更新 R10～R65年度
財政計画
・鯉ヶ沢浄水場施設更新事業 R6～R8年度(耐用年数超過及び水害対策)
[調査及び設計:令和6年度、更新工事:令和7～8年度]※予備年として令和9年度を設定
・配水管布設替事業 R10～R14年度(耐震化及び経年率の減少)

② 収支計画のうち財源についての説明

| | |
|-----|--|
| 目 標 | 水道料金をもって経営を行う独立精算を基本とした運営を行うとともに、経常的なコストの削減、国庫補助金等の活用と一般会計からの繰入金及び水道料金の改定により財源確保に努め、収支均衡を図ります。 |
|-----|--|

水道料金については、人口減少等による料金収入の減少が見込まれることから、現在の料金体系の収入では財源が不足するため、水道料金改定を行う必要があります。料金改定にあたっては、当町財政部局と協議しながら一般会計繰入金を繰入したうえ、使用者の負担増に配慮しながら、累積欠損金が発生する令和8年度改正を見込み、検討・準備していくものです。しかし、現段階では具体的な料金改定の計画は無く、更にコロナ禍が明け、国内情勢を見極めた判断が必要となると思われるため、収支計画には料金改定を計画として計上しておりません。

また、企業債については、企業債償還金が減少傾向にありますが、今後は安易な活用を見直し長期的視野に立ち活用することを目指します。特に借入種類や償還期限、借入利率の選択関係については、十分調査検討するものとします。

繰入金については、国の繰出し基準に基づいた「基準内分」を計上し、基準内分を差し引いた旧簡易水道建設改良費に係る経費を「基準外分として計上しています。(なお、基準外分については、当町財政状況や水道料金改定を踏まえ、適宜財政部局と協議するものです。)

また、資産の有効活用については十分検討するものとします。

今後の国庫補助金等については、該当となる事業が減少して来ていることから、計上していません。

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

・委託料に関する事項：包括的民間委託等を検討している。なお、現在委託しているものは、施設管理関係(配水場管理、警備保障、電気保安点検等)、水質検査委託(原水・浄水)、収納関係(検針・口座振替等)、事業関係(大規模事業等の設計・工事監理委託)となっています。

・修繕費に関する事項：施設関係(建築施設・機械設備・電気計装設備・管路施設)と多岐に渡り、経費削減のため当該水道事業直営による修繕も多くなってきています。更に動力費は燃料費及び電気代の高騰を見越し、R5年度で20%の上昇を見込んでおります。

・職員給与費に関する事項：経営指標においても生産性が低いことから、委託の見直し等により、給与費の削減をするものとしています。

(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

※ 投資・財政計画(収支計画)に反映することができなかった検討中の取組や今後検討予定の取組について、その内容等を記載すること。

また、(1)において、純損益(法適用)又は実質収支(法非適用)が計画期間内の最終年度で黒字とならず、赤字が発生している場合には、赤字の解消に向けた取組の方向性、検討体制・スケジュール等について記載する必要があること。

① 投資の合理化、費用の見直しについての検討状況等

| | |
|---|---|
| 広 域 化 | 将来の広域化や相互支援体制の確立のため、公益社団法人日本水道協会青森県支部と連携し、青森県水道事業広域連携西北地区会議に積極的に参加、検討するものとします。 |
| 民間の資金・ノウハウ等の活用 (PPP/PFI等の導入等) | PFI導入についての調査を検討します。設計、施工監理、監督業務委託の導入を検討します。収納業務等の業務委託導入の検討をします。 |
| アセットマネジメントの充実 (施設・設備の長寿命化等による投資の平準化) | 施設、設備の適切な点検、修繕計画に基づき、長寿命化を図り投資の平準化を検討します。 |
| 施設・設備の廃止・統合 (ダウンサイジング) | 水需要予測において、給水人口及び給水量の減少等を調査・検討し、水道施設及び管路の計画的な更新を進めダウンサイジング・スペックダウンなどの「投資の合理化」、徹底した経営の効率化並びに健全化を進める「経営基盤の強化」に取り組んでいきます。 |
| 施設・設備の合理化 (スペックダウン) | 施設・設備については、水需要予測に対応した合理化、効率化を検討します。管路についても、水需要予測及び管網計算に基づいた口径縮径で効率化を図ります。 |
| その他の取組 | 緊急時への対応として、「水道危機管理マニュアル」の見直しや、過去に大規模被災した日本海中部地震を教訓に、緊急時連絡管等を整備すると共に、緊急用資材等も計画的に確保します。 |

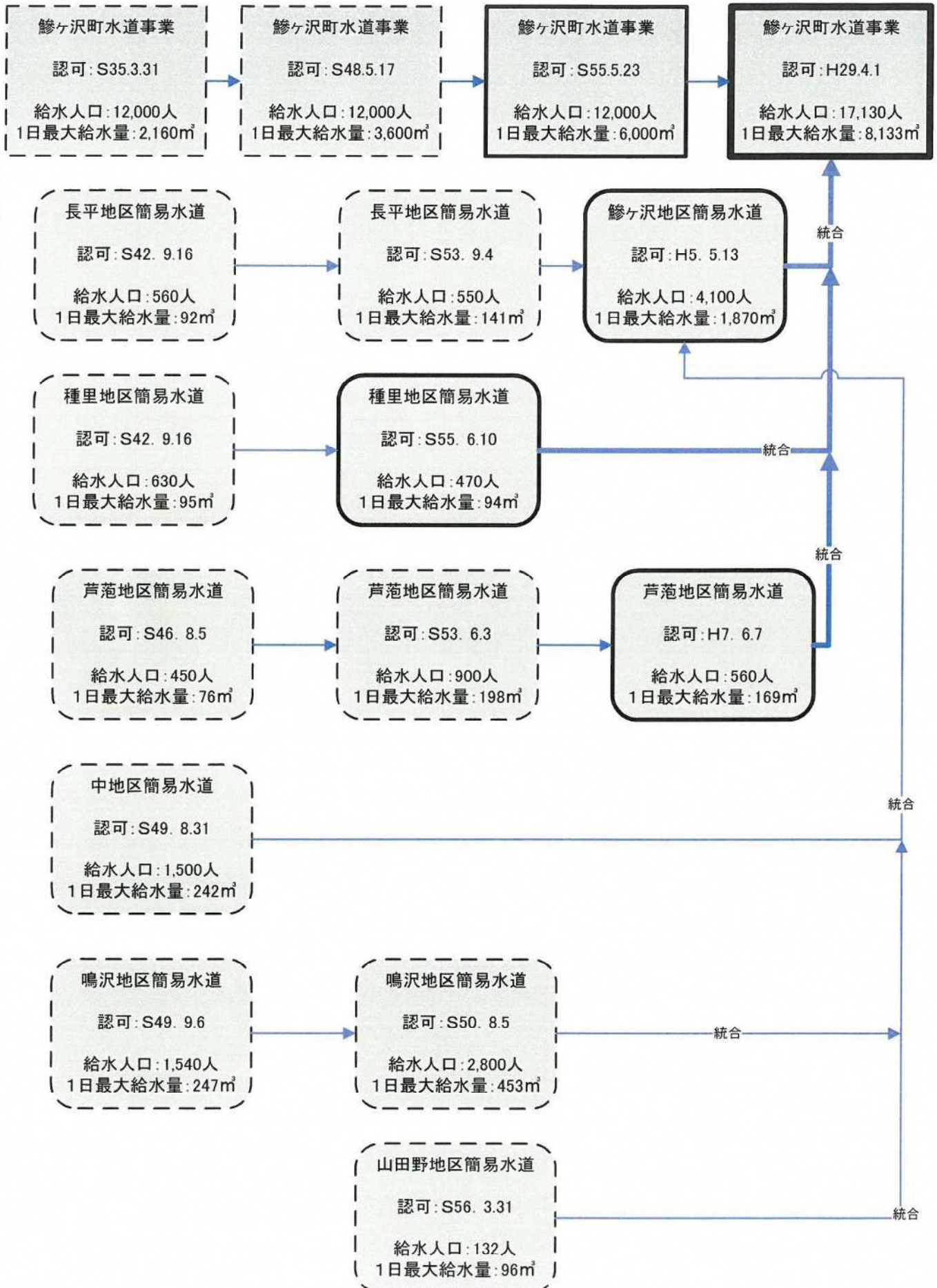
② 財源についての検討状況等

| | |
|------------------------|---|
| 料 金 | 過去の実績及び社会経済情勢の推移を踏まえ、水需要予測と施設計画に基づいた合理的な必要費用と資本経費を適切に算定する総括原価を基本とし、独立採算、受益者負担の原則により、供給単価が給水原価を下回らないことから、計画想定外の収入減少時には、速やかに料金改定を検討します。 |
| 企 業 債 | 費用負担の平準化を図り、計画的な運用を目指します。 |
| 繰 入 金 | 独立採算制を経営の基本原則としていることから、受益者負担の原則に基づき、適正な料金設定による給水収益の確保に努め、基準内繰入を原則とします。 |
| 資産の有効活用等(*2)による収入増加の取組 | 遊休資産の売却については、山間地に多く所有し無償貸与地が多いことから計上していません。 |
| その他の取組 | 水道加入金や給水管新設・改良の設計審査、完成検査等の各種手数料について、適性の可否について検討します。 |

5. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

| | |
|---------------------|---|
| 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項 | 経営戦略期間を令和4年度から令和14年度までの10年間とし、PDCAサイクルを継続し5年毎に見直しをするものとします。また、5年毎の見直しについては、見直し前3年間程度の実績を踏まえ、評価・検討・改善したものを新たな10年間の経営戦略に更新するものとします。 |
| | なお、この間に重大な変更事由があった場合にはその都度、見直し更新するものとします。 |

鱈ヶ沢町水道事業等の沿革



経営比較分析表（令和3年度決算）

青森県 鯉ヶ沢町

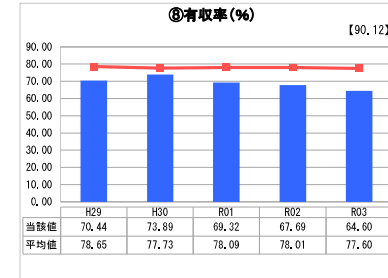
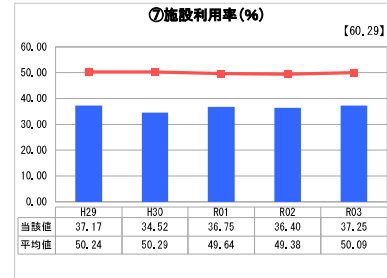
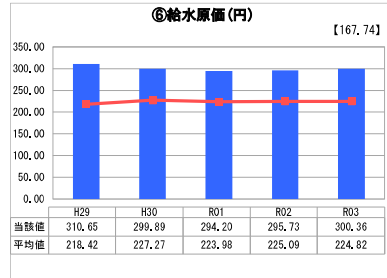
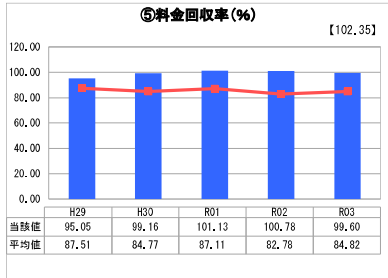
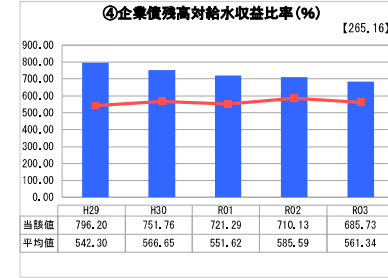
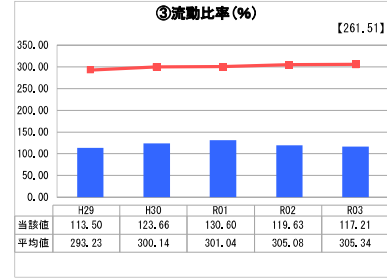
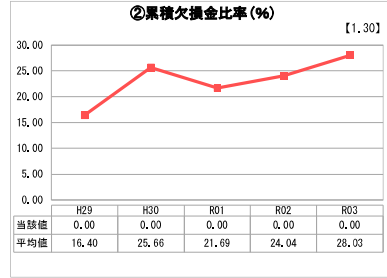
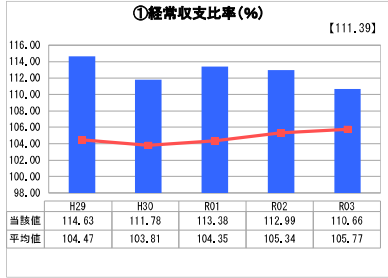
| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------------------------------|--------|
| 法適用 | 水道事業 | 末端給水事業 | A8 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) | |
| - | 55.14 | 83.70 | 5,643 | |

| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|-----------|--------------------------|----------------------------|
| 9,235 | 343.08 | 26.92 |
| 現在給水人口(人) | 給水区域面積(km ²) | 給水人口密度(人/km ²) |
| 7,587 | 91.86 | 82.59 |

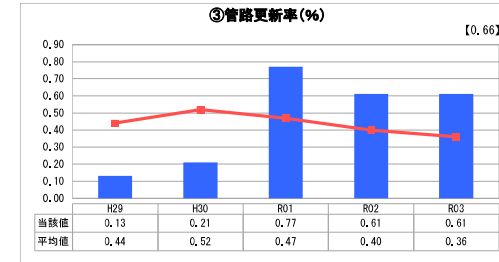
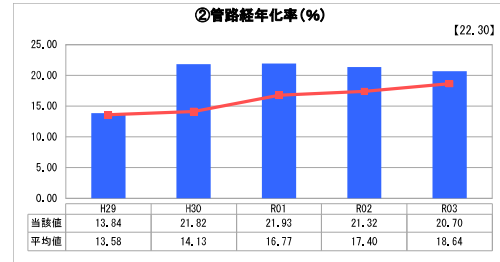
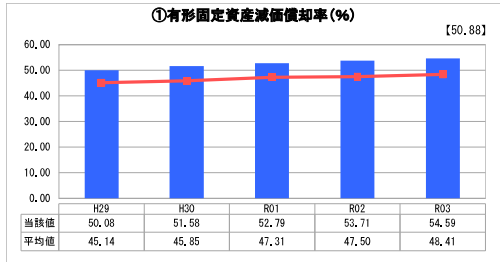
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率について、過去5年間に於いて100%以上となっており、経営黒字となっている。
 流動比率について、簡易水道事業と上水道事業が経営統合してから5年、ほぼ横ばいで100%を僅かながら上回り収支均衡を保っている。また、企業債の償還額も年々減少することから100%以上は維持できるものと考えられる。
 企業債残高対給水収益比率について、類似団体より約124%高くなっているが、償還元金残高においては、令和10年度頃までが償還のピークとなっており、その後は一気に減少する見込みである。今後、新規起債を予定しているため、単年度において若干の増加が見込まれるが、健全性は確保されている。
 料金回収率及び給水原価については、H29年度より旧簡水（低い給水収益・高い経常費用）との統合により給水原価が高騰、過去5年間の料金回収率を見て100%前後と給水収益だけは給水費用を賄うことが難しい状況となっている。今後も、更なる経費削減対策を講じるとともに、料金改定も視野に入れ、検討していくこととなる。

施設利用率について、人口の減少の加速化及び必要期の配水量の低下等、施設の遊休率が高くなってきている。施設も老朽化しており更新時期を迎えるにあたり、過大対策として施設設備のダウンサイジング化を図り、効率性の向上対策を実施することとしている。
 有収率について、基幹管路の更新を計画的に行っているが、中々向上しない。基幹管路以外の配水管等の漏水が原因と考えられるため、漏水調査にも力を入れ有収率の向上に努める。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率については、類似団体に比べ約6.2%、全国平均に比べ約3.7%高く、耐用年数に近い資産が多い状況である。特に、鯉ヶ沢町浄水場については、40年を経過し、建物・機械設備・電気設備等は全体的に老朽化が進んでおり、水害対策も含め施設の更新の必要性が高い状況にある。
 管路経年化率については、耐用年数を超える管路が増加傾向にあるが、近年、40年経過の基幹管路の更新を計画的に行っており、老朽管の管路延長も減少している。今後も施設の更新に係る財源の確保や経費に与える影響も踏まえながら、計画的かつ効率的に取り組む必要がある。

全体総括

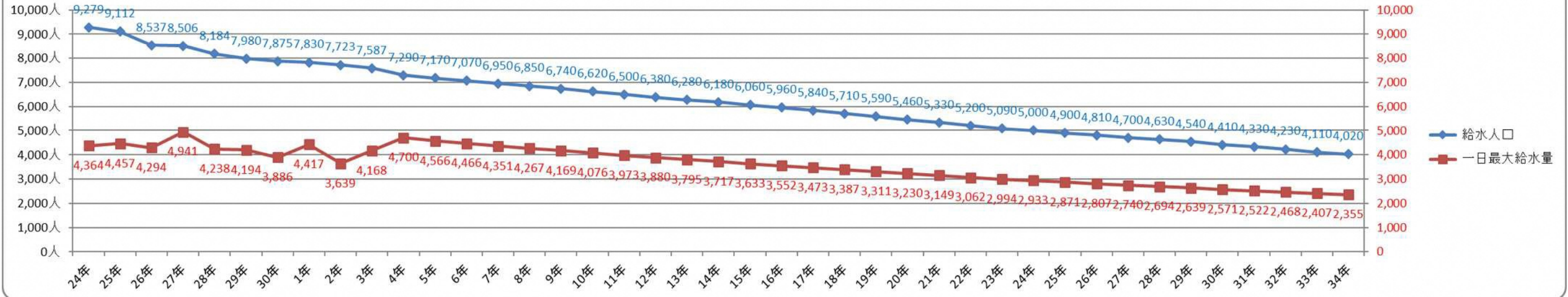
小規模事業体で地理的条件も悪く、過疎化の進行による人口減少等に伴い経営状況が悪化するものと推測されるが、経常収支は黒字を維持している。また、類似団体に比べて水道管や施設の老朽化も著しく進んでおり、有収率の指標の通り配水管からの漏水（お客様に供給する前に漏れる様子）が多く、ムダな経費を生む原因の一つとなっていると考えられる。更に今後、経年化に伴う大規模施設（浄水場、配水池等）の更新を行い、適正化に努めなければならない。料金改定、ダウンサイジング、広域化など様々な角度から検討を行い、適正化に努めていく必要がある。これらを踏まえながら、R4年度中には経営戦略を見直し改定する。

給水人口及び給水量（鯉ヶ沢町）

| 区分 | | 単位 | 計画期間 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|------------|------------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|
| | | | 実績 | | | | | | | | | | | 推計期間 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年度 | | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | R15 | R16 | R17 | R18 | R19 | R20 | R21 | R22 | R23 | R24 | R25 | R26 | R27 | R28 | R29 | R30 | R31 | R32 | R33 | R34 | | | |
| 行政区域内人口 | (人) | 11,450 | 11,175 | 10,899 | 10,665 | 10,408 | 10,161 | 9,920 | 9,613 | 9,373 | 9,156 | 8,740 | 8,560 | 8,380 | 8,200 | 8,030 | 7,860 | 7,690 | 7,520 | 7,350 | 7,200 | 7,040 | 6,890 | 6,730 | 6,580 | 6,410 | 6,240 | 6,060 | 5,890 | 5,720 | 5,590 | 5,470 | 5,350 | 5,220 | 5,100 | 4,980 | 4,850 | 4,730 | 4,610 | 4,490 | 4,360 | 4,240 | | | |
| 給水区域内人口 | (人) | 10,392 | 10,182 | 9,926 | 9,820 | 9,601 | 9,375 | 9,154 | 8,893 | 8,675 | 8,480 | 8,120 | 7,950 | 7,810 | 7,640 | 7,510 | 7,350 | 7,200 | 7,050 | 6,900 | 6,760 | 6,620 | 6,470 | 6,340 | 6,200 | 6,040 | 5,900 | 5,720 | 5,570 | 5,410 | 5,290 | 5,170 | 5,060 | 4,940 | 4,820 | 4,720 | 4,610 | 4,470 | 4,370 | 4,260 | 4,130 | 4,020 | | | |
| 給水人口 | (人) | 9,279 | 9,112 | 8,537 | 8,506 | 8,184 | 7,980 | 7,875 | 7,830 | 7,723 | 7,587 | 7,290 | 7,170 | 7,070 | 6,950 | 6,850 | 6,740 | 6,620 | 6,500 | 6,380 | 6,280 | 6,180 | 6,060 | 5,960 | 5,840 | 5,710 | 5,590 | 5,460 | 5,330 | 5,200 | 5,090 | 5,000 | 4,900 | 4,810 | 4,700 | 4,630 | 4,540 | 4,410 | 4,330 | 4,230 | 4,110 | 4,020 | | | |
| 普及率 | (%) | 89.3 | 89.5 | 86.0 | 86.6 | 85.2 | 85.1 | 86.0 | 88.0 | 89.0 | 89.5 | 89.8 | 90.2 | 90.5 | 91.0 | 91.2 | 91.7 | 91.9 | 92.2 | 92.5 | 92.9 | 93.4 | 93.7 | 94.0 | 94.2 | 94.5 | 94.7 | 95.5 | 95.7 | 96.1 | 96.2 | 96.7 | 96.8 | 97.4 | 97.5 | 98.1 | 98.5 | 98.7 | 99.1 | 99.3 | 99.5 | 100.0 | | | |
| 給水戸数 | (戸) | 3,819 | 3,745 | 3,762 | 3,713 | 3,704 | 3,678 | 3,657 | 3,613 | 3,603 | 3,574 | 3,433 | 3,376 | 3,329 | 3,272 | 3,225 | 3,173 | 3,117 | 3,060 | 3,003 | 2,956 | 2,909 | 2,852 | 2,805 | 2,748 | 2,687 | 2,631 | 2,569 | 2,508 | 2,447 | 2,395 | 2,352 | 2,306 | 2,262 | 2,211 | 2,178 | 2,136 | 2,074 | 2,037 | 1,990 | 1,933 | 1,891 | | | |
| 有効水量 | 生活用水量 | 一人一日平均使用水量 | (ℓ/人日) | 178 | 177 | 184 | 182 | 189 | 192 | 191 | 190 | 192 | 193 | 193 | 193 | 192 | 193 | 193 | 193 | 193 | 193 | 193 | 193 | 193 | 193 | 193 | 193 | 193 | 193 | 193 | 192 | 192 | 192 | 192 | 192 | 192 | 192 | 192 | 192 | 192 | 192 | 192 | 192 | | |
| | | 一日平均使用水量 | (m³/日) | 1,653 | 1,615 | 1,574 | 1,552 | 1,545 | 1,535 | 1,508 | 1,485 | 1,484 | 1,461 | 1,408 | 1,382 | 1,363 | 1,337 | 1,322 | 1,301 | 1,278 | 1,255 | 1,231 | 1,212 | 1,191 | 1,169 | 1,148 | 1,125 | 1,102 | 1,079 | 1,054 | 1,028 | 1,000 | 978 | 960 | 941 | 922 | 901 | 888 | 870 | 846 | 830 | 811 | 788 | 770 | |
| | 営業業務用水量 | 一人一日平均使用水量 | (ℓ/人日) | 668 | 632 | 609 | 606 | 588 | 580 | 556 | 571 | 508 | 481 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 |
| | | 一日平均使用水量 | (m³/日) | 668 | 632 | 609 | 606 | 588 | 580 | 556 | 571 | 508 | 481 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 | 552 |
| | 工場用水量 | 一人一日平均使用水量 | (ℓ/人日) | 27 | 33 | 22 | 22 | 20 | 12 | 11 | 11 | 10 | 12 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 |
| | | 一日平均使用水量 | (m³/日) | 27 | 33 | 22 | 22 | 20 | 12 | 11 | 11 | 10 | 12 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 |
| | その他水量 | 一人一日平均使用水量 | (ℓ/人日) | 1 | 1 | 0 | 1 | 3 | 3 | 2 | 3 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 一日平均使用水量 | (m³/日) | 1 | 1 | 0 | 1 | 3 | 3 | 2 | 3 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 一人一日平均使用水量 | (ℓ/人日) | 253 | 250 | 258 | 256 | 263 | 267 | 264 | 264 | 259 | 258 | 272 | 273 | 274 | 275 | 276 | 278 | 279 | 281 | 283 | 284 | 285 | 287 | 289 | 291 | 293 | 295 | 298 | 300 | 302 | 305 | 306 | 309 | 311 | 313 | 315 | 318 | 322 | 324 | 327 | 331 | 334 | |
| | | 一日平均使用水量 | (m³/日) | 2,349 | 2,281 | 2,205 | 2,181 | 2,156 | 2,130 | 2,077 | 2,070 | 2,004 | 1,956 | 1,980 | 1,954 | 1,935 | 1,909 | 1,894 | 1,873 | 1,850 | 1,827 | 1,803 | 1,784 | 1,763 | 1,741 | 1,720 | 1,697 | 1,674 | 1,651 | 1,626 | 1,600 | 1,572 | 1,550 | 1,532 | 1,513 | 1,494 | 1,473 | 1,460 | 1,442 | 1,418 | 1,402 | 1,383 | 1,360 | 1,342 | |
| 無収水量 | 一人一日平均使用水量 | (ℓ/人日) | 79 | 31 | 19 | 154 | 139 | 49 | 81 | 101 | 269 | 1 | 4 | 7 | 9 | 12 | 14 | 17 | 18 | 19 | 23 | 22 | 27 | 29 | 29 | 32 | 31 | 34 | 34 | 36 | 36 | 39 | 41 | 40 | 42 | 41 | 42 | 42 | 44 | 45 | 45 | 46 | 46 | | |
| | 一日平均使用水量 | (m³/日) | 79 | 31 | 19 | 154 | 139 | 49 | 81 | 101 | 269 | 1 | 4 | 7 | 9 | 12 | 14 | 17 | 18 | 19 | 23 | 22 | 27 | 29 | 29 | 32 | 31 | 34 | 34 | 36 | 36 | 39 | 41 | 40 | 42 | 41 | 42 | 42 | 44 | 45 | 45 | 46 | 46 | | |
| 計 | (m³/日) | 2,428 | 2,312 | 2,224 | 2,335 | 2,295 | 2,179 | 2,158 | 2,171 | 2,273 | 1,957 | 1,984 | 1,961 | 1,944 | 1,921 | 1,908 | 1,890 | 1,868 | 1,846 | 1,826 | 1,806 | 1,790 | 1,770 | 1,749 | 1,729 | 1,705 | 1,685 | 1,660 | 1,636 | 1,608 | 1,589 | 1,573 | 1,553 | 1,536 | 1,514 | 1,502 | 1,484 | 1,462 | 1,447 | 1,428 | 1,406 | 1,388 | | | |
| 無効水量 | (m³/日) | 1,181 | 1,158 | 1,410 | 968 | 784 | 941 | 650 | 819 | 687 | 1,073 | 1,048 | 990 | 945 | 896 | 857 | 813 | 775 | 734 | 696 | 662 | 627 | 594 | 562 | 532 | 502 | 472 | 444 | 416 | 389 | 365 | 342 | 321 | 299 | 278 | 259 | 241 | 221 | 203 | 187 | 169 | 154 | | | |
| 一日平均給水量 | (m³/日) | 3,609 | 3,470 | 3,634 | 3,303 | 3,079 | 3,120 | 2,808 | 2,990 | 2,960 | 3,030 | 3,032 | 2,951 | 2,889 | 2,817 | 2,765 | 2,703 | 2,643 | 2,580 | 2,522 | 2,468 | 2,417 | 2,364 | 2,311 | 2,261 | 2,207 | 2,157 | 2,104 | 2,052 | 1,997 | 1,954 | 1,915 | 1,874 | 1,835 | 1,792 | 1,761 | 1,725 | 1,683 | 1,650 | 1,615 | 1,575 | 1,542 | | | |
| 一人一日平均給水量 | (ℓ/人日) | 389 | 381 | 426 | 388 | 376 | 391 | 357 | 382 | 383 | 399 | 416 | 412 | 409 | 405 | 404 | 401 | 399 | 397 | 395 | 393 | 391 | 390 | 388 | 387 | 387 | 386 | 385 | 385 | 384 | 384 | 383 | 382 | 381 | 381 | 380 | 380 | 382 | 381 | 382 | 383 | 384 | | | |
| 一日最大給水量 | (m³/日) | 4,364 | 4,457 | 4,294 | 4,941 | 4,238 | 4,194 | 3,886 | 4,417 | 3,639 | 4,168 | 4,700 | 4,566 | 4,466 | 4,351 | 4,267 | 4,169 | 4,076 | 3,973 | 3,880 | 3,795 | 3,717 | 3,633 | 3,552 | 3,473 | 3,387 | 3,311 | 3,230 | 3,149 | 3,062 | 2,994 | 2,933 | 2,871 | 2,807 | 2,740 | 2,694 | 2,639 | 2,571 | 2,522 | 2,468 | 2,407 | 2,355 | | | |
| 一人一日最大給水量 | (ℓ/人日) | 470 | 489 | 503 | 581 | 518 | 526 | 493 | 564 | 471 | 549 | 645 | 637 | 632 | 626 | 623 | 619 | 616 | 611 | 608 | 604 | 601 | 600 | 596 | 595 | 593 | 592 | 591 | 589 | 588 | 587 | 586 | 584 | 583 | 582 | 581 | 583 | 582 | 583 | 585 | 586 | 586 | | | |
| 有効率 | (%) | 65.1 | 65.7 | 60.7 | 66.0 | 70.0 | 68.3 | 74.0 | 69.2 | 67.7 | 64.6 | 65.3 | 66.2 | 67.0 | 67.8 | 68.5 | 69.3 | 70.0 | 70.8 | 71.5 | 72.3 | 72.9 | 73.6 | 74.4 | 75.1 | 75.8 | 76.5 | 77.3 | 78.0 | 78.7 | 79.3 | 80.0 | 80.7 | 81.4 | 82.2 | 82.9 | 83.6 | 84.3 | 85.0 | 85.6 | 86.3 | 87.0 | | | |
| 有効率 | (%) | 67.3 | 66.6 | 61.2 | 70.7 | 74.5 | 69.8 | 76.9 | 72.6 | 76.8 | 64.6 | 65.4 | 66.5 | 67.3 | 68.2 | 69.0 | 69.9 | 70.7 | 71.6 | 72.4 | 73.2 | 74.1 | 74.9 | 75.7 | 76.5 | 77.3 | 78.1 | 78.9 | 79.7 | 80.5 | 81.3 | 82.1 | 82.9 | 83.7 | 84.5 | 85.3 | 86.0 | 86.9 | 87.7 | 88.4 | 89.3 | 90.0 | | | |
| 負荷率 | (%) | 82.7 | 77.9 | 84.6 | 66.8 | 72.7 | 74.4 | 72.3 | 67.7 | 81.3 | 72.7 | 64.5 | 64.6 | 64.7 | 64.7 | 64.8 | 64.8 | 64.8 | 64.9 | 65.0 | 65.0 | 65.0 | 65.1 | 65.1 | 65.1 | 65.1 | 65.2 | 65.2 | 65.2 | 65.3 | 65.3 | 65.3 | 65.4 | 65.4 | 65.4 | 65.4 | 65.5 | 65.4 | 65.4 | 65.4 | 65.5 | | | | |

給水人口及び一日最大給水量（鯉ヶ沢町）

給水人口・一日最大給水量



| | 年度 | R3 | R4 | R34 | 現在(R4)から目標年度(R34)における減少率 |
|---------|--------|-------|-------|-------|--------------------------|
| | 単位 | 実績 | 現在 | 目標年度 | |
| 給水人口 | (人) | 7,587 | 7,290 | 4,020 | ▲ 55 % |
| 一日最大給水量 | (m³/日) | 4,168 | 4,700 | 2,355 | ▲ 50 % |

投資・財政計画

(単位:千円)

| 区 分 | | 年 度 | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|------------------------------|--------------|--------------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|
| | | 令和3年 (決算) | 令和4年 (予算) | 令和5年 | 令和6年 | 令和7年 | 令和8年 | 令和9年 | 令和10年 | 令和11年 | 令和12年 | 令和13年 | 令和14年 |
| 資 本 的 収 入 | 1. 企業債 | 68,700 | 71,000 | 107,000 | 50,000 | 700,000 | 700,000 | | 20,000 | 20,000 | 20,000 | 20,000 | 20,000 |
| | うち資本費平準化債 | | | | | | | | | | | | |
| | 2. 他会計出資金 | | | | | | | | | | | | |
| | 3. 他会計補助金 | | | | | | | | | | | | |
| | 4. 他会計負担金 | 33,532 | 35,650 | 36,292 | 35,650 | 36,292 | 34,860 | 31,486 | 27,059 | 25,367 | 20,295 | 12,320 | 12,235 |
| | 5. 他会計借入金 | | | | | | | | | | | | |
| | 6. 国(都道府県)補助金 | 32,000 | 32,000 | 28,000 | | | | | | | | | |
| | 7. 固定資産売却代金 | | | | | | | | | | | | |
| | 8. 工事負担金 | | | | | | | | | | | | |
| | 9. その他 | | | | | | | | | | | | |
| | 計 (A) | 134,232 | 138,650 | 171,292 | 85,650 | 736,292 | 734,860 | 31,486 | 47,059 | 45,367 | 40,295 | 32,320 | 32,235 |
| | (A)のうち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額 (B) | | | | | | | | | | | | |
| | 純計 (A)-(B) (C) | 134,232 | 138,650 | 171,292 | 85,650 | 736,292 | 734,860 | 31,486 | 47,059 | 45,367 | 40,295 | 32,320 | 32,235 |
| | 資 本 的 支 出 | 1. 建設改良費 | 100,875 | 104,350 | 135,463 | 50,000 | 700,000 | 700,000 | 20,000 | 20,000 | 20,000 | 20,000 | 20,000 |
| | | うち職員給与費 | | | | | | | | | | | |
| 2. 企業債償還金 | | 151,712 | 158,827 | 158,076 | 155,010 | 143,469 | 115,943 | 105,666 | 78,350 | 55,884 | 67,593 | 78,880 | 67,910 |
| 3. 他会計長期借入返還金 | | | | | | | | | | | | | |
| 4. 他会計への支出金 | | | | | | | | | | | | | |
| 5. その他 | | | | | | | | | | | | | |
| 計 (D) | 252,587 | 263,177 | 293,539 | 205,010 | 843,469 | 815,943 | 105,666 | 98,350 | 75,884 | 87,593 | 98,880 | 87,910 | |
| 資本的収入額が資本的支出額に不足する額 (E) | 118,355 | 124,527 | 122,247 | 119,360 | 107,177 | 81,083 | 74,180 | 51,291 | 30,517 | 47,298 | 66,560 | 55,675 | |
| 補 填 財 源 | 1. 損益勘定留保資金 | 82,862 | 83,568 | 83,381 | 85,544 | 86,897 | 81,083 | 74,180 | 51,291 | 30,517 | 47,298 | 66,560 | 55,675 |
| | 2. 利益剰余金処分量 | 35,493 | 40,959 | 38,866 | 33,816 | 20,280 | | | | | | | |
| | 3. 繰越工事資金 | | | | | | | | | | | | |
| | 4. その他 | | | | | | | | | | | | |
| 計 (F) | 118,355 | 124,527 | 122,247 | 119,360 | 107,177 | 81,083 | 74,180 | 51,291 | 30,517 | 47,298 | 66,560 | 55,675 | |
| 補填財源不足額 (E)-(F) | | | | | | | | | | | | | |
| 他会計借入金残高 (G) | | | | | | | | | | | | | |
| 企業債残高 (H) | 733,842 | 646,015 | 594,939 | 489,929 | 1,046,460 | 1,630,517 | 1,524,851 | 1,466,501 | 1,430,617 | 1,383,024 | 1,324,144 | 1,276,234 | |

○他会計繰入金

(単位:千円)

| 区 分 | | 年 度 | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|----------|--------------|--------------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | | 令和3年 (決算) | 令和4年 (予算) | 令和5年 | 令和6年 | 令和7年 | 令和8年 | 令和9年 | 令和10年 | 令和11年 | 令和12年 | 令和13年 | 令和14年 |
| 収 益 的 収 支 分 | | 24,478 | 45,164 | 31,664 | 32,193 | 31,883 | 49,860 | 73,992 | 76,614 | 91,873 | 94,741 | 91,409 | 89,866 |
| | うち基準内繰入金 | 24,478 | 34,044 | 21,664 | 22,193 | 21,883 | 19,860 | 23,992 | 46,614 | 81,873 | 79,741 | 76,409 | 74,866 |
| | うち基準外繰入金 | | 11,120 | 10,000 | 10,000 | 10,000 | 30,000 | 50,000 | 30,000 | 10,000 | 15,000 | 15,000 | 15,000 |
| 資 本 的 収 支 分 | | 33,532 | 35,650 | 36,292 | 35,650 | 36,292 | 34,860 | 31,486 | 27,059 | 25,367 | 20,295 | 12,320 | 12,235 |
| | うち基準内繰入金 | 33,532 | 35,650 | 36,292 | 35,650 | 36,292 | 34,860 | 31,486 | 27,059 | 25,367 | 20,295 | 12,320 | 12,235 |
| | うち基準外繰入金 | | | | | | | | | | | | |
| 合 計 | | 58,010 | 80,814 | 67,956 | 67,843 | 68,175 | 84,720 | 105,478 | 103,673 | 117,240 | 115,036 | 103,729 | 102,101 |